

EU Indicators

欧州経済指標コメント：9月ユーロ圏PMI指数(速報)

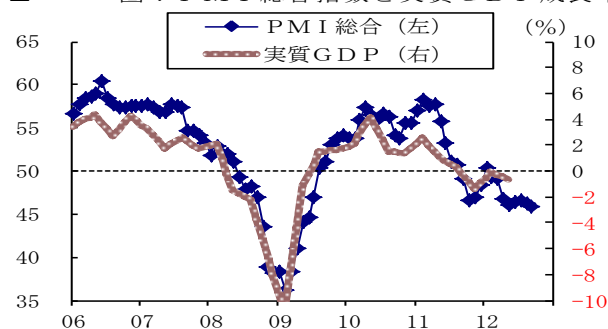
発表日：2012年9月21日(金)

～内外景気の減速懸念や追加の財政緊縮措置が業況改善の重石に～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

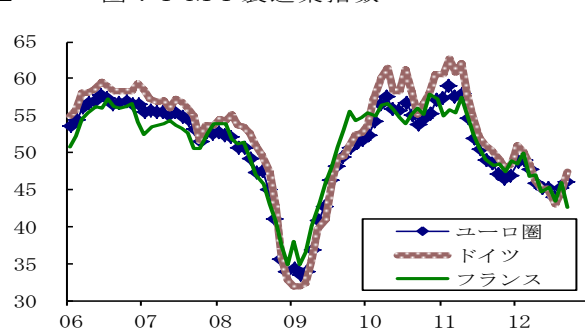
- 20日に発表された9月のユーロ圏のPMI総合指数は前月：46.3→今月：45.9と悪化ペースが小幅加速し、8ヶ月連続で業況判断の分岐点である50を下回った。4月に一段と水準を切り下げた後は、今次景気後退局面のボトム近傍で低迷。ただ、40未滿に落ち込んだ2008-09年の景気後退期と比べると、軽微な落ち込みにとどまっており、景気の後退ペースが一段と加速している訳ではない。
- 発表元のMarkitによれば、今回のPMI指数の水準は、7-9月期のユーロ圏の実質GDP成長率が前期比▲0.6%程度のペースで落ち込んだ可能性が示唆される(左図)。ECBは9月6日の政策理事会で2012年の実質GDP見通しを前回：▲0.1%→今回：▲0.4%、2013年を+1.0%→+0.5%に引き下げたが、このまま回復時期の後ズレが続けば、来年の成長率がさらに下振れするリスクが高まってくる。
- 国別・業種別には、ドイツが製造業/サービス業ともに前月から上昇の一方、フランスが製造業・サービス業ともに前月から低下(右図)。その他国(イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャ)は小幅ながら前月から一段と水準を切り下げた。ECBによる国債買い入れ方針の発表が業況改善を後押ししたとみられるが、フランスでは大企業への課税強化などを盛り込んだ来年度予算案が発表、スペインではVAT増税など追加の財政緊縮措置が始まったことが、業況を下押しした模様。項目別には、同日発表された中国のPMIの悪化など内外景気の減速懸念を背景に、受注判断指数が2009年5月以来の水準に、雇用判断指数が2010年1月以来の水準に悪化した。

■ユーロ圏：PMI総合指数と実質GDP成長率



注：実質GDP成長率は前期比年率。
 出所：Markit、Eurostat

■ユーロ圏：PMI製造業指数



出所：Markit

■PMI指数(季節調整済み)

	2011				2012								
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ユーロ圏 総合産出指数	47.3	49.6	46.4	46.2	49.3	49.1	46.7	46.0	46.4	46.5	46.3	45.9	
製造業PMI指数	46.8	48.5	45.4	45.0	49.0	47.7	45.9	45.1	45.1	44.0	45.1	46.0	
サービス業業況指数	47.6	49.5	46.9	47.0	48.8	49.2	46.9	46.7	47.1	47.9	47.2	46.0	
ドイツ 製造業PMI指数	48.5	49.9	45.5	45.0	50.2	48.4	46.2	45.2	45.0	43.0	44.7	47.3	
サービス業業況指数	51.1	52.9	51.3	49.7	52.8	52.1	52.2	51.8	49.9	50.3	48.3	50.6	
フランス 製造業PMI指数	48.2	48.4	45.6	44.0	50.0	46.7	46.9	44.7	45.2	43.4	46.0	42.6	
サービス業業況指数	48.2	50.8	46.1	48.4	50.0	50.1	45.2	45.1	47.9	50.0	49.2	46.1	

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。